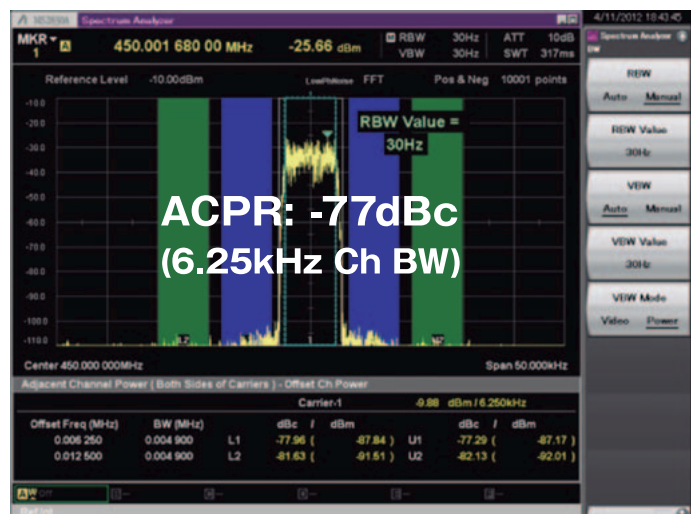


6.25kHz、 狭帯域化への「答え」が ここにあります。

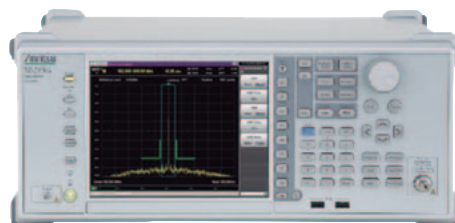
業務用無線機の測定に関する悩み、アンリツが解決します。

スペクトラムアナライザの近傍位相雑音と価格のスリム化を実現！



ハイエンドクラスと同等の近傍位相雑音性能

帯域外領域スプリアスや隣接チャネル漏洩電力比の測定に、高価なハイエンド・スペクトラムアナライザは、もう不要です。



スペクトラムアナライザ/シグナルアナライザ MS2830A

低雑音 低価格

いますぐ、

アンリツ6.25

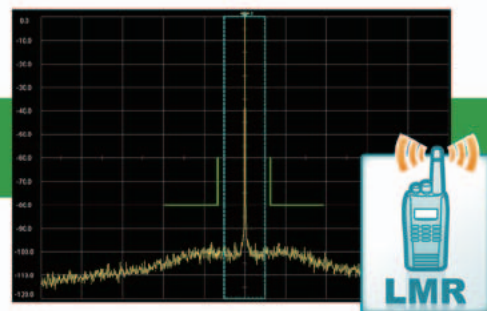
アンリツ株式会社 本社：神奈川県厚木市恩名5-1-1 〒243-8555 www.anritsu.com

計測器営業本部 TEL: 0120-133-099 または 046-296-1208 FAX: 046-296-1248 E-mail: SJPost@zy.anritsu.co.jp
営業推進部 受付時間/9:00~17:00 月~金曜日(当社休業日を除く)

Anritsu

Discover What's Possible™

6.25 kHz、業務用無線機器の測定に関する悩みを解決します。 狭帯域化への「答え」が、ここにあります。



「近傍位相雑音性能」と「価格」のスリム化を実現 — シグナルアナライザ MS2830A

アンリツは、シグナルアナライザ MS2830Aに低位相雑音オプション MS2830A-066を用いし、低価格ながらハイエンド・スペクトラムアナライザと同等レベルの近傍位相雑音性能を実現しました。業務用無線機器の測定の悩みを解決し、生産・検査工程における課題に応えます。

高価なハイエンド・スペクトラムアナライザは、もう不要です。

A ANSWER

ハイエンド・スペアナでしか測定できなかった厳しい規格をクリアする近傍位相雑音性能

-125
dBc/Hz (typ.)

MS2830Aは、アンリツ独自の特殊な回路方式を採用した位相雑音オプションにより、ハイエンド・スペクトラムアナライザと同等レベルの近傍位相雑音性能を実現しています。

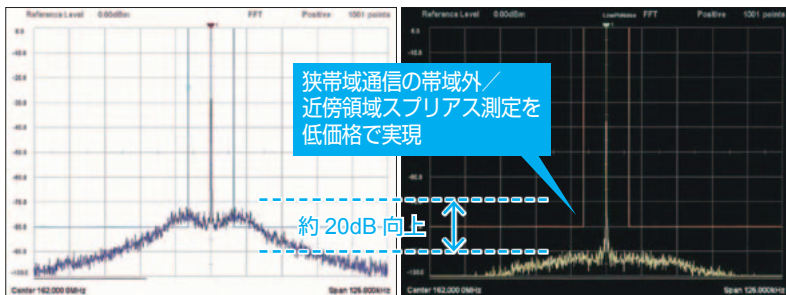
帯域外領域スプリアス、隣接チャネル漏洩電力 (ACPR)、エミッションマスクなど、厳しい要求規格に対して十分なマージンを確保した性能を提供でき、無線機器の生産・検査工程において、「高価なハイエンド・スペアナを使用しなければならない」という悩みを解決します。

周波数: 220 MHz
オフセット: 10 kHz

帯域外スプリアス測定 (TELEC) の一例

一般的なミドルレンジ・スペクトラムアナライザ

MS2830A + 低位相雑音オプション



狭帯域通信の帯域外/
近傍領域スプリアス測定を
低価格で実現

約 20dB 向上

(例) 帯域外スプリアスの技術基準 (-80dBc, 8kHz オフセット)

ACPR 測定 (TIA-102/603) の一例



ハイエンド・スペクトラム
アナライザ並みの
近傍位相雑音性能!

A ANSWER

設備コストを $\frac{1}{3}^*$ に削減する優れたコストパフォーマンス

MS2830Aに搭載される低位相雑音オプションは、業務用無線で使用される周波数帯域における近傍位相雑音性能にのみフォーカスしています。そのため、高価なハイエンド・スペクトラムアナライザと同等の近傍位相雑音性能を「 $\frac{1}{3}^*$ 」の低価格で実現しています。レベル精度や測定速度などの基本性能にも優れ、生産・検査工程における設備コスト低減、タクトタイム削減、歩留まり改善などの課題に貢献します。

*: 一般的なハイエンド・スペクトラムアナライザとの比較



- ▶ 業務用無線機器の測定ソリューションをWebで公開中
- ▶ スペクトラムアナライザ選定に役立つテクニカルノート「狭帯域・デジタル化に伴う無線機器の測定に対応するスペクトラムアナライザ」もWebから入手可能